

懇談会における議論の基礎となる情報

<p>裁判員候補者名簿に関する情報</p>	<p>裁判員裁判対象事件に関する各種情報 国民の負担に配慮した裁判員裁判の運用となっているかを検証するため、各種の方法で情報を収集・分析</p>		
<p>候補者名簿の登載人数のほか、名簿記載通知と併せて実施した、裁判員になることができない職業に就いているかどうか、辞退を希望するかどうかといった点の調査の状況を検証。</p> <p>【主なデータ項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○候補者名簿の登載人数 ○裁判員になることができない職業に就いている者の人数 ○年間を通じて辞退を希望した者の人数 ○特に参加が困難であるとす月に関する意向調査の結果など 	<p>定型的に収集する事件ごとの統計データ</p> <p>定型的に収集する事件ごとの統計データ。</p> <p>【主なデータ項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本データ <ul style="list-style-type: none"> ・事件数 ・裁判員等の人数 ・自白・否認別の事件数 ○争点等の整理のために要した期間等 ○選任手続に関するデータ <ul style="list-style-type: none"> ・出頭率 ・辞退数 ○審理・評議・判決等に関するデータ <ul style="list-style-type: none"> ・審理日数・審理時間 ・評議の所要時間 ・終局区分・終局結果 など 	<p>各地方裁判所の実情</p> <p>定型的に収集する統計データによっては、必ずしも浮かび上がってこない個別の実情について、必要に応じ、各地方裁判所の実情を調査することも可能。</p> <p>【主な調査方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京地裁における実情を実務担当者から随時報告 ○各地方裁判所から実情を聴取 ○実務担当者の協議会等における実情聴取 など 	<p>アンケート</p> <p>裁判所に出頭した裁判員候補者、裁判員、補充裁判員を対象にアンケートを実施。客観的統計データでは判明しない、主観的な要素(感想・思い・声など)を把握。</p> <p>【主なアンケート項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○属性(性別・年齢層・職業) ○日程調整に当たっての支障 ○選任手続について <ul style="list-style-type: none"> ・送付物の分かりやすさ ・質問手続で改善を要する点 ○審理・評議について <ul style="list-style-type: none"> ・審理等の分かりやすさ ・事案判断の困難性 ○裁判員等を経験しての感想 ○その他要望等 など